

令和6年度 熊本市立寺井小学校 学校評価計画

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担者	評価指標	<評価の根拠> 達成度判断基準	教職員アンケート	児童アンケート	保護者アンケート	取組状況	評価	今後の改善点と具体的方策
1 組織的な 学校運営	①【組織的な学校運営】 主任等を中心とした各組織が PDCAサイクルを機能させ、共通 理解・共通行動で教育活動を進 める。	教頭	学年会やチーム会で、 取り組みの反省を生かし、 情報共有や指導の 統一ができています。	<実施状況・アン ケートの状況> A: +評価90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	学年会やチーム会 で、取り組みの反省 を生かし、情報共有 や指導の統一がで ています。					
	②【いじめ・不登校等の未然防止】 日常の情報共有・報告・連絡・相 談を適切に行い、いじめや不登校 等の課題に迅速・適切に対応し、 安全・安心な学校づくりをする。	教頭	・いじめ等記録シートで 報告し、組織的に迅速 に対応する。 ・ひだまり教室等を活用 して、不登校傾向の児童 に組織的に関わることが できている。	<実施状況・アン ケートの状況> A: +評価90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	・いじめ等記録シートで 報告し、組織的に迅速 に対応した。 ・ひだまり教室等を活用 して、不登校傾向の 児童に組織的に関わ ることができている。					
	③【業務改善・働き方改革の推進】 教科担任制やICTの効果的な活用、 学年会やチーム会を通して、業 務改善としての指導の充実を図り、 業務改善・働き方改革を推進する。	教頭	時間外勤務時間が 2カ月連続で80時間 を超える教職員数 ゼロを目指す。	<勤務時間集計> A:ゼロ B:1~2人 C:3~4人 D:5人以上						
2 知（進ん で学ぶ子）	①【情報収集する力の育成】 児童が探究サイクルを回すことが できる授業を構築し、一人ひとりの 学ぶ力を的確に見取り、情報収 集する力を全教科横断的に育成し ていく。	研究 主幹	総合・生活科を中心に 「授業に主体的に取り 組んでいる。」「学ぶことが 楽しい。」と感じている児童 の割合	(教・児アンケート) A:90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	総合・生活科を中心 に、児童主体の単 元構想をしている。	(中高学年) 総合的な学習で自 分たちで課題を見つ けて学習を進めるこ とができる。 (低学年) 生活科で進んで学 習に取り組んでいる。				
	②【論理的に考え、伝える力を高 める】 言語技術の型を示し、教育活動の 中でアウトプットする場面を設定 し、活用を価値づけ、論理的に考 え、伝える力を高めていく。	研究 主幹	3つの接続詞を用いて学 習のふりかえりをするこ とができている児童の割 合	単元末におけるふり かえりで3つの接続 詞を用いて書けて いる児童の割合 A:90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	3つの接続詞を用い てふりかえりを書か せたことで、子ども たちが論理的に考 え、伝える力がつ いたと思う。	(低) ・3つの接続詞をつ かって話したり、ふ りかえりを書いたり することができた。 (中・高) ・3つの接続詞を 使って、自分の考 えを話したり、書 いたりすることが できた。				
	③【主体的・対話的で深い学びの 実現】 ICTの効果的な活用による個別最 適な学びと協働的な学びの一体 的な充実に努め、主体的・対話 的で深い学びの実現を目指す。	G I R A 研究 主幹	情報収集したり、表現 したりするツールとして端 末を活用している児童の 割合	(教・児アンケート) +評価 A:90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	情報収集したり、表 現したりする場面 で端末を活用させ ている。	(低) 学校生活の中で端 末を活用している。 (中・高) 情報収集したり、表 現したりするツール として日常的に端 末を活用している。				
3 徳（思い やりのあ る子）	①【生徒指導の4つの視点】 生徒指導の4つの視点を生かした 教育活動を行い、児童の自己達 成感や自己有用感を高め、一人 ひとりが安心して学級で過ごす ことができるようにする。	生徒 指導	・チェックシートで自己存 在感(察める・認める)の 項目で肯定的評価がつく 教師の割合。 ・「学校が楽しい」に当 てはまると答える児童の割 合。	<教・児・保アン ケート> +評価 A:90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	児童を褒める認 める言葉がけを意識 して行っている。ま た、てらいつ子の足 跡の活動を通して、 学級の成長や良さ を認めている。	学校生活は楽しい。 お子さんは学校生 活を楽しんでいる。				
	②【親和的な集団づくり】 進んであいさつすることや温かな 言葉・反応を大切にし、親和的な 集団づくりを支援する。	生徒 指導	・「自分が気持ちの良いと思 えるあいさつをしている」 に当てはまると答える児童 の割合。 ・「温かな言葉・反応を大切 にした集団づくりを心がけ ている」に当てはまると答 える教師の割合。	<教・児アンケート> +評価 A:90%~ B:80%~ C:70%~ D:70%未満	教師自身が気持ちのよ いあいさつを行い児童 の手本を心がけると ともに、お互いに認 め合うことを目的 とした活動(ハッピ ーター等)、言葉がけ を行い、親和的な集 団づくりを支援し ている。	自分が気持ちの良 いと思えるあいさ つをしている。				
4 体（より よく生き る子）	①【自分の命・健康を自分で守る】 自分の生活を整え、自分の命・健 康を自分で守る力をつける取り 組を行う。	保健 主事	・「感染症や熱中症を予防しよ うと考えて学校生活が送れて いる。」に当てはまると答 える児童の割合。 ・「感染症や熱中症を予防す るための行動を自分で考 えてできるよう指導し ている。」に当てはま ると答える教師の割合。 ・「学校は、校内外の安全指 導に努め、事故防止に 配慮している。」に 当てはまると答える 保護者の割合。	<教・児・保アン ケート> +評価 A:~85% B:~75% C:~65% D:65%未満	感染症や熱中症を 予防するための行 動を自分で考 えてできるよう指 導している。	感染症や熱中症を 予防しようと思 って学校生活が 送れている。	学校は、校内外の 安全指導に努 め、事故防止に 配慮している。			
	②【目標を持って運動に取り組む】 運動の楽しさや喜びを味わい、考 えたり工夫したりしながら、運動 の課題を解決する体育科の授業 を行う。	保健 主事	・「体育の授業は楽しい」と 答える児童の割合 ・「児童自らが課題を設定 し、体力・技能の向上や課 題解決できるような体育科 の授業を行っている。」に 当てはまると答える教師 の割合	<教・児アンケート> +評価 A:~85% B:~75% C:~65% D:65%未満	児童自らが課題を 設定し、体力・技 能の向上や課題 解決できるよ うな体育科の 授業を行って いる。	体育の授業は楽し い。				
5 家庭・地 域との連 携協働	①【PTAや学校運営協議会との連 携】 PTAや学校運営協議会と連携を 高め、保護者や地域の力を生か した教育活動を充実させる。	教頭	学校は、地域や保護者 の力を生かして教育活 動を行っている。	<保・教アンケート> A: +評価90%~ B:80%~ C:70% ~ D:70%未満	読書ボランティアの 読み聞かせ・学習サ ポーター等、学校 は、地域や保護者 の力を生かして教 育活動を行って いる。	読書ボランティアの 読み聞かせ・学習サ ポーター等、学校 は、地域や保護者 の力を生かして教 育活動を行って いる。				
	②【開かれた学校づくり】 家庭や地域に学校教育活動の様 子を発信し、信頼される学校づく りを進める。	教頭	学校は、紙でのお便り の他、ホームページやコ ドモン、クロームブック を使って、学校のこ とを保護者に伝 えている。	<保・教アンケート> A: +評価90%~ B:80%~ C:70% ~ D:70%未満	学校は、紙でのお 便りの他、ホーム ページやコードモ ン、クロームブ ックを使って、学 校のことを家庭 や地域に伝 えている。	学校は、紙でのお 便りの他、ホーム ページやコードモ ン、クロームブ ックを使って、 学校のことを保護 者に伝えている。				